

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル10F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

マーケティング

世界遺産でも地元に経済効果薄い 観光資源→売上増対策に模索続く

群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」(構成資産4つ)が世界遺産に決まった。その1年前は富士山と周辺の遺産群(同6つ)で、地元にとって大きな観光資源の目玉だ。そのために遺産の価値を維持管理しながら経済効果と両立させる正念場を迎える。

富岡市では富岡製糸場が世界遺産候補になってから観光客や見学者が増え続け一時期は年間23万人に達したが、今は20万人に落ち、近くの温泉地などへ流れるバスツアー客を引きとめる模索が課題となっている。一方、富士宮市(静岡県)は、早くも「富士山の地元経済効果が上がらない」と渋い。単純にバスツアー観光客は増えたものの、富士山本宮浅間大社などに寄った客が街歩きして買い物や食事などをしないため、お金も使わず、宿泊客も横ばいと商店街はぼやく。どこも滞留時間の長短が観光地の生命線なのだ。

富岡市では今、急増する車での来訪者への交通等のインフラ整備策、設備の老朽化対策などに着手したばかり。富士宮市は官民がアイデアを出し合ってITを中心に据えた商店街活性化を試みる。富士山世界遺産センターも開館する。

観光地をもつ市町村では両市のケースは他人事ではない。東京スカイツリーの地元、押上地区でも、ツリー入場客が地元商店街を通過しがちという。「いかにお客の財布を開けさせるか」—安倍内閣の「地方創生」に期待する？

税務会計

年末調整で国税庁が注意を呼びかけ 復興特別所得税の計算漏れに注意!

国税庁はこのほど、「2014年分年末調整のしかた」を公表し、その中で年末調整を行う際に復興特別所得税の計算漏れがないよう注意を呼び掛けている。今年5月に国税庁が取りまとめた2013年分所得税確定申告においても、全申告書提出人員の2.1%にあたる約45.7万件に、復興特別所得税の税額を空欄のまま申告するなどの記載漏れがあったことなどから、改めて注意を喚起したもの。

復興特別所得税は、復興財源確保のため所得税の源泉徴収義務者に対して、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に生ずる所得について源泉所得税を徴収する際、復興特別所得税を併せて徴収し、源泉所得税の法定納期限までに、その復興特別所得税を源泉所得税と併せて国に納付することとされている。このため、年末調整において年税額を計算する際にも、復興特別所得税を含めた年税額(「年調年税額」)を算出する必要があるが、2013年分の年末調整の際に復興特別所得税の計算が漏れている事例が散見されたことや、また、上記のように2013年分所得税確定申告においても復興特別所得税の税額の記載漏れがあったことなどから、2014年分の年末調整を前に改めて申告漏れがないよう注意を呼びかけた。

年末調整における年調年税額を計算する際には、算出所得税額から(特定増改築等)住宅借入金等特別控除額を控除した後の年調所得税額に10.21%を乗じて算出(100円未満の端数は切捨て)する。

今週のキーワード

地方創生

正確には「まち・ひと・しごと創生本部」。安倍首相が改造内閣の目玉として設置。人口減・超高齢化という大きな課題に対し政府一体となって取り組み、各地域が特徴を活かして自律的で持続的な社会を創生できるよう、推進役に石破茂地方創生相が座った。地方再生の司令塔として「縦割り排除」を期待する。しかし来年度の概算要求をみると、旧来の焼き直しにお金の「バラマキ」感は隠せない。